

目次

質問：

どのようにユーザの特定のグループのためのネットワークを去る電子メール メッセージでフッター/免責事項を押しますか。

多くの組織は電子メール システムからの発信メッセージにフッターを置きたいと思います。これはメッセージが警告へ免責事項を追加することのような可能な理由で一般的に、メッセージが保護されたコミュニケーションが含まれている受信者されます。 AsyncOS では、これは呼出されます「フッター押すことと」。

フッター押すことはかなり不正確なアートで、一般に 発信 メールにだけ役立ちます。これは多くのメッセージに複雑な構造がある、という理由により、HTML または Microsoft Word 本文のようなそれらの本文へのフッターを追加することは可能性のあるではないかもしれないしまたはそうではないかもしれません。フッター押すことへ 2 つのステップがあります。最初に、フッターは作成されます。それから、フッターは 3 つの方法の 1 つのメッセージに追加されます。

1. 最初にフッターを作成して下さい。ポリシーを郵送する GUI ナビゲートでは->テキストリソースは、そしてテキストリソースを『Add』をクリックします
2. 発信コンテンツ フィルタを作成して下さい条件が (従って、メール ポリシーのすべてのメッセージに適用されます) ないし、操作を「作成したフッターが付いているフッター」を追加してもらう
3. ポリシーのフィルタを押すフッターを有効に して下さい。

ヒント：フッター押すことがリスナーで、またはメッセージ フィルターかコンテンツ フィルタとすることができがユーザの特定のグループのためにそれをする最も簡単な方法はと同時にコンテンツ フィルタあります。

またメッセージ フィルターを使用してメッセージにフッターを追加できます：

```
AddOutgoingDisclaimer:
recv == OutboundMail
mail-from == @exchange \ \ .example \ \ .com$ {
    ;
}
```

また特定のリスナーで受け取ったすべてのメッセージにフッターを追加できます。次に、例を示します。

```
smtp.scu.com >listenerconfig
```

```
:
1. InboundMail PublicNet 192.35.195.42 SMTP TCP 25
2. OutboundMail Privatenet 172.20.0.142 SMTP TCP 25 Private
```

```
:
```

-
- EDIT -
--
--
[] > Edit

[] > 2

[Name] OutboundMail
Type:
Interface: Privatenet 172.20.0.142/24 TCP 25
SMTP
Default Domain:
: 600 TCP : 50
:
TLS
SMTP :
:
:
LDAP:

:
-
--
--
--
- HOSTACCESS -
- BOUNCECONFIG -

--
- DOMAINMAP -
- LDAPACCEPT - LDAP
/

[] >

e

a

[] >

[Y] >

SenderBase IP
[N] >

[N] > y

1.

[1]>

[Name] OutboundMail
Type:
Interface: Privatenet 172.20.0.142/24 TCP 25
SMTP
Default Domain:
: 600 TCP : 50
:
TLS
SMTP :

```
:  
:  
LDAP:
```

```
:  
-  
--  
--  
--  
- HOSTACCESS -  
- BOUNCECONFIG -  
  
--  
- DOMAINMAP -  
- LDAPACCEPT - LDAP  
/  
[] >
```

```
:  
1. InboundMail PublicNet 192.168.195.42 SMTP TCP 25  
2. OutboundMail Privatenet 172.20.0.142 SMTP TCP 25 Private
```

```
:  
-  
- EDIT -  
--  
--  
[] >
```

```
smtp.scu.com >commit
```

```
:  
[] OutboundMail > Add
```

```
: 11 23 19:48:47 2004 MST
```

ヒント : AsyncOS の新しいバージョンでまたメッセージの上の免責事項を追加できます